

対象	中学校 1 学年以上
教科	音楽
該当 単元	〈中学〉 「世界各地の 楽器の音色」 ・ さまざまな 楽器の音 ～ビートルズの 名曲を彩る楽器～
教科書	教育芸術社等
掲載日	2014. 5. 2. 朝刊 12 版 1 面

問1：見出しにあるバイオリン王とは誰のことで、なぜそう呼ばれるのか、理由を二つ書きましょう。

氏名()

理由① ()

理由② ()

問2：今回発見されたバイオリンと、皇太子さまが持っておられるバイオリンの共通点を四つ挙げましょう。

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()

問3：今回発見されたバイオリンと、皇太子様が持っておられるバイオリンの違いは何でしょう。

()

発展：オーケストラに用いられるバイオリン以外の弦楽器を、音の高い順に述べましょう。() () ()

鈴木政吉自作の1929年製バイオリン
＝愛知県長久手市の県立芸術大で



バイオリン王の音色復活

日本人で初めてバイオリン量産化に成功した名古屋出身の「バイオリン王」鈴木政吉（一八五九～一九四四年）が、名人技を発揮して手作りした一九二九年製の高級バイオリンが、愛知県尾張旭市三郷町富丘の元小学校校長松浦正義さん宅で見つかり、松浦さんが同県立芸術大（長久手市）に寄贈した。十日に学内である無料公開の特別講座で、修復された「幻の名器」が演奏披露される。――関連⑥面

鈴木政吉手製 愛知芸大で10日披露

調査した井上さつき音楽学部教授によると、政吉は六十代から、イタリア製の名器を手本に高級手工藝バイオリンを作り、国内外で高い評価を得た。「欧州産高級材を用い後世に残すべき作品に情熱を燃やした時期の作品で、円熟期の政吉製はこれが二つ目」という。もう一つは、ピオラ演奏で知られ、バイオリンもたしなむ皇太子さまが昭和天皇

の弟、故高松宮宣仁親王から譲られた一九二六年製の解体修理をしたイタリア在住の弦楽器製作者、松下敏幸さんの鑑定によると、バイオリン内部には一九九年の製作年と政吉自作を示す自筆ラベルがあり、皇太子さま所有のものと同様の赤モミ、カエデといった欧州産高級材、ブラウンの上質ニスを使用。楽器を縁取る象眼の手法も同一だった。古い弦楽器の目利きでもある同芸術大非常勤講師のバイオリニスト江頭摩耶さんは「予想以上に素晴らし。いろんな名器の要素を

いいとこ取りしており、骨の中に繊細な技術が息づく。政吉が独自のスタイルを築いたことが分かる」と評価する。十日午後二時から同芸術大室内楽ホールである特別講座で初披露。政吉の三男でバイオリン教授法「スズキ・メソッド」を創始したバイオリニスト故鈴木鎮一氏作曲の「前奏と名古屋の子守唄」など三曲を演奏する。入場無料だが、事前申し込みが必要。問い合わせは愛知県立芸術大学務課 電話0561(76)2731へ。(長谷義隆)